

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

でんとうてき

ぎょうじ

げいのう

伝統的な行事と芸能

しょうみえく(こじまちく・ちごぎょうれつ)

正御影供(児島地区・稚児行列)

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



かんけいのある場所

みなみけつしゅうじゅうつか じ
・南結衆十カ寺

きたけつしゅうじゅうざんか じ
・北結衆十三カ寺



この行事について

「正御影供」とは、弘法大師(空海)をたたえる行事です。弘法大師が入定したと伝えられる3月21日に御影(肖像)をまつて、報恩・供養をする行事をいいます。児島地区では、真言宗の寺院である集まりを南と北に分けています。南の集まりは10の寺で成り立っており、10年に1度当番がまわってきて行事を実施します。北の集まりはの13の寺で13年に1度当番を務めます。

児島地方では、正御影供を「メークウ」といい、親しまれています。当日は、当番寺によってはちがうことがあります。境内で素人芝居や演芸などの興行物や稚児行列が行われます。多くの稚児行列は男児は烏帽子、女児は天冠などをかぶり、歩きます。元々は、稚児行列も修行の一環として見られていましたが、現在では、参加する子ども自身の無病息災や豊かな心を持って育てほしいという願いをこめ行われています。

南の集まりは、般若院(通生)・吉祥院(塩生)・安楽院(呼松)・文殊院(菰池)・持宝院(味野)・大宝寺(大島)・弘泉寺(田之浦)・観音寺(吹上)・円福寺(下津井)・吉塔寺(柳田)

北の集まりは、藤戸寺(藤戸)・一等寺(曾原)・般若寺(福田)・蓮華院(浦田)・慈眼院(尾原)・西明院(粒江)・真浄院(林)・西方寺(串田)・持命院(広江)・住心院(木見)・遍照院(天城)・大慈院(植松)・岡山市・宝寿院(福江)

